# あすか野新聞

２００９年９月１日

**ご近所サロン特集**

**保 存 版**

## ９月からスタート

## 『ご近所サロン』

本年度の自治会活動の重点項目として掲げられました『ご近所サロン』が、９月より始まります。その発足に当たり、活動の内容をまとめ、皆様にお知らせします

活動は班単位に進められますが、8/23 日に各班長さんに対し、本活動の検討委員会の手で説明会が行われました

初めての試みであり、色々な課題があります。しかしあすか野を、より住みよい街にする活動であることを、ご理解いただくために、要点をまとめますとともに、予想される質問を拾い上げ、解説を試みてみました。裏面にはなぜ・いま この活動が必要か！というポイントを挙げています。一層のご理解を頂きたく、ぜひご一読をお願いします

1. 活動の趣旨
   あすか野に住む人たち相互のコミュニティー一つくり。その力で防犯・防災
2. キャッチフレーズ
   みんなで作ろう安心・安全の街 あすか野
3. 活動期間
   第一期は 21 年９月～22 年３月
   これ以降も引き続き活動します
4. 活動単位
   １班１サロンとします
   隣接の２班で１サロンも可能です
5. 推進者
   各班長とします。ブロック長や地区長が支援します
6. 活動事例
   地区単位の清掃後の歓談、防犯パトロールに参加、防災センター見学、学童通学時の見守り活動に参加、「あいあいサロン」などサークル活動の見学/参加
   「はばたき」の催しに参加、
   市内公共施設（ゴミ焼却場など）見学
   町内周辺の花見、お茶会、おしゃべり会
   近郊の社寺訪問/ハイキング
   簡単なゲーム会、ラジオ体操に参加など
7. 活動費支援
   一人あたり１回につき 500 円（上限）
   （お子様は対象外です）
8. 活動の一例
   班長が幾つかのプランをつくり、班内に示し、それを基に相談し、まとまれば実行します
   500 円の範囲内で費用の有効利用をはかり、懇親・懇談へ
   終了後は活動報告をブロック長に出して、費用を精算します
9. 各地区の推進顧問
   ご近所サロン検討員会では、各委員が次の通り分担し、各地区の推進顧問をつとめます
   実行にあたって、様々な相談ごとは顧問あてにお願いします

| （地　区） | （顧　問） | 敬称略（住所と電話） | |
|---|---|---|---|
| 北１丁目 | 松本喜昭 | （北 1-11-20） | 78-0563 |
| 北２　〃 | 多田正夫 | （北 2-6-5） | 78-3525 |
| 北３　〃 | 吉井忠雄 | （北 3-1-12） | 78-7780 |
| 南１　〃 | 市場孝史 | （南 1-7-6） | 78-5854 |
| 南２　〃 | 桑原英雄 | （南 1-4-30） | 78-4347 |
| 南３　〃 | 吉井紘一 | （南 3-6-22） | 78-7350 |

10. ＰＲ
    各サロンの活動の一部は、あすか野新聞号外にて、掲示板に公示します



## それでは
## おたずねします

**いったい何をしたいんですか**

「この あすか野に住んで良かった、これからも住み続けたい」と思えるような、心の通う街づくりをしたいのです

今の自治会活動の基本単位は班ですが、ここを主体に、班内の皆様が互いに、もう少し関係を深め、これまで希薄なままに来た姿を少々 改められないかとする運動です

**なぜ今頃やるんですか**

あすか野では、少子高齢化が急速に進んでいます。防災・防犯・相互扶助といった事項の重要性はますます高まっています

しかし今のままで放置すれば、さびれた街に落ち込んでしまいます。ご近所同士の親しみ合いを深め、地域としての活動を強化し、無気力・無関心への傾斜を食い止めなければなりません

**うまくいくんですか**

出身地も信条も違う者 同士が、急に親しくなれませんよ！

これまでも各個人で何とか過ごしてきたのでしょう。他人からアレコレ言われる筋合いでもない！

このような指摘は当然 出てくるでしょう。然し勤務を離れ、一日の大半をこの地で過ごす人が増えています。これまでの生活ではなく、問題はこれから先の生活です

互いに年老いて、「隣は何をする人ぞ」式には参りません。住む人によい街は、勝手に出来るのではなく、自分も参画して作り上げる他はないのです

**犯罪や災害と脅しますが、過去30年余！ 何もありませんが**

幸いにも大災害はありませんでした。それでも何時 地震があり大洪水があるのかは予測できないのも事実です

ご存知かどうか知りませんが、あすか野の背景の山中に、大きな池が二つあります

上町の古老の話では、はるか以前に４ツもあった池が、大雨で決壊し、私たちが住む東南向きの斜面が水浸しになった歴史もあるようです

非常事態に備えることは、これからも一層 重要になります

犯罪防止は、予防活動の成果が着々と上がっている事実に着目下さい

**お茶を濁すほどの会に参加しても親しみが湧きますか**

そこなのですよ　核心は

これまで殆ど見ず知らずで過ごしてきた同士が、軽く話し合う機会を持つだけでも、顔見しりになります。全てはそこから始まります。

一般の常識をお持ちの方であれば、非常時ともなれば、全く知らない人に対しても手をさしのべる気持ちをお持ちです。まして顔見しりにもなれば、お互いさまです

高齢化の時代では、相互扶助の風土がないところでは、住みにくくて仕方がないんじゃないですか

**たびたびやるんですか**

いまのところでは、年間で２回位を予定しています。開催の方法も多彩ですから

ご参加の負担は、それほど大きくはないでしょう

**みんなで楽しく「あいあいサロン」の風景（於：自治会館）**

# イザという時に誰に頼りますか

## （先ず自分を守ることですが その次は）

**予知できない地震・大水害**

これだけ科学が進歩しても、地震や大水害の予知は不可能です。大地震は百年単位で発生すると、過去の事例から割り出されていますが、いつ どこで発生するのかわかりません

14年前の阪神大震災は、どなたも鮮明に記憶されているでしょうが、誰もが夢にも思わなかった地域・震度で発生し、被害も桁はずれでした。

この大震災の教訓は、倒れた家の下敷きになった後に、救出され命をとりとめた人の殆どは、震災直後の15分以内に救出されたこと そして殆どはご近所の人たちの手で救われたことです

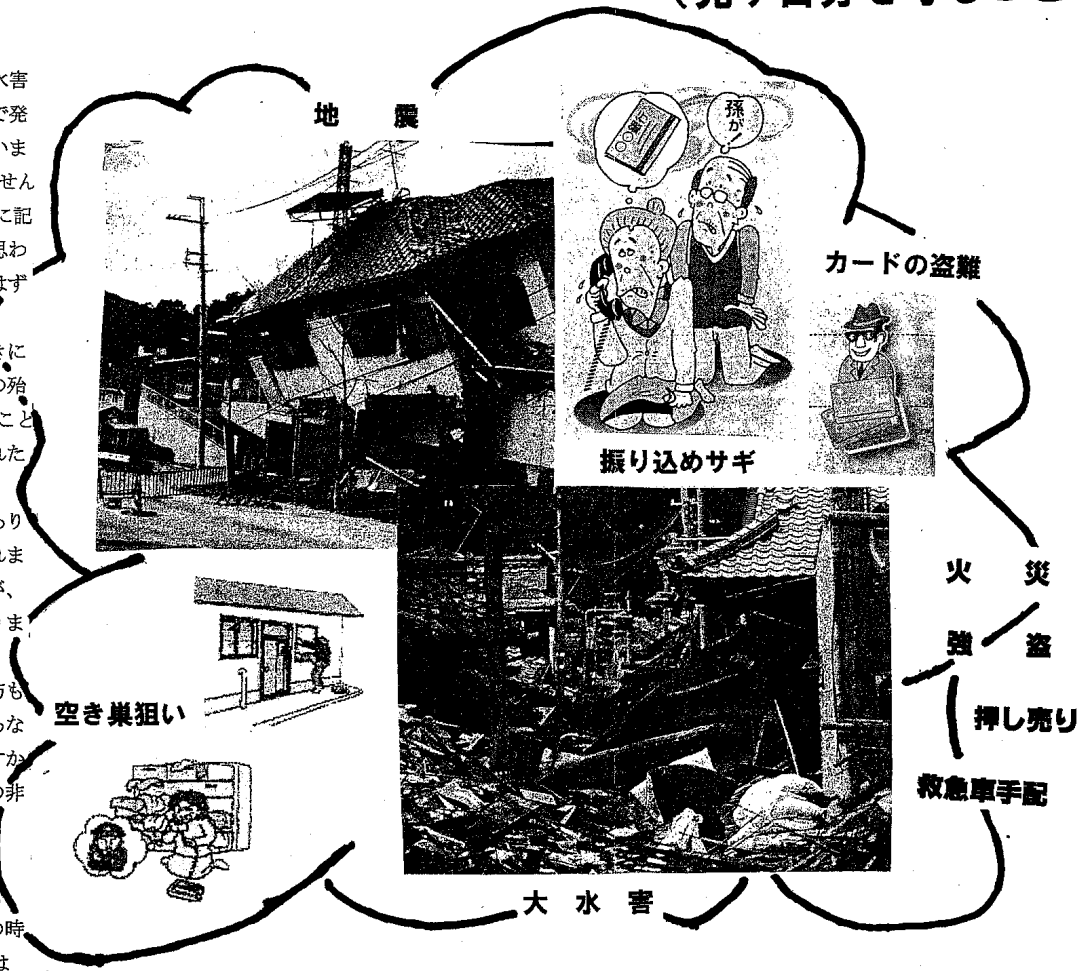
つい先日は兵庫県の佐用町で大水害があり避難通報の遅れもあり、多数の命が失われました。大水害もしばしば発生していますが、同じ場所で同じ季節に発生したことはありません。

イザという時に、すぐには市役所も消防も警察も頼ることはできません。その時にあなたは独りで、何でもこなす自信がありますか ご近所同士の助け合いをあてにせず、この非常事態に対応はできますか

**高齢化が進むのに浅い付き合い**

あすか野が発足して34年も経ちました。その間に高齢化が急速に進み、本年6月の時点では、65歳以上の人の比率（高齢率）は31.5%と、生駒市内でも指折りの地域となっています。これに伴い独居の家庭も急増しているのです

問題はその歴史の割に、住民相互の関係は薄く、数軒も離れると、互いに顔も知らないという有様です。これでは真の地域力は発揮できません




**災害時：あすか野の避難場所**

1．生駒市指定の避難場所（市が救援物資を配送する場所）

(1)　あすか野小学校（2）近隣では上中学校と北コミュニティーセンターはばたき（3）総合公園体育館

2．自治会/自主防災会指定の一次集合所（最寄りの公園、空き地）

北1丁目：**スポーツ広場、森の広場、でこぼこ公園**

北2丁目：　〃　〃　あすか野団地バス停ロータリー、消防署倉庫敷地

北3丁目A：**北の広場、**　〃　〃　〃　北3丁目B：**山側西公園**

南1丁目：　**でこぼこ公園**、砂の広場　南2丁目：　遊具の広場、スポーツ広場、**花の広場**

南3丁目：　**花の広場**、砂の広場　**太字の場所に防災倉庫があります**

**サギ・空き巣・押し売り・・・**

今のあすか野では、静かで平穏な生活環境が保たれていますそれでも6～7年前では、アキ巣の被害が年間15件以上もありました。防犯協議会を中心にした活動効果で、今では年間1～2件に留まっています。地域全体の協同活動の成果でありアキ巣に悩む近隣の自治会の注目を浴びています。

警察や消防署や税務署を名乗る、悪質なサギの手も、あすか野では影をひそめています。常設の自治会館へ問い合わせが出来ますし、隣組を通じた回覧などのＰＲ効果が効いています

**全て個人まかせで良いのでしょうか**

何も手を打たずに、全て個人まかせだと放置しておけるでしょうか。自分のことは自分で始末しろと突き放してよいのでしょうか。

否応なく迫ってくる高齢化の高波の中では、孤立無援を誇るよりも、近隣が**お互い様**という気持ちで、互いに助け合い親しみ合う生活こそが本命でしょう

子供も孫も親戚も、スグ近くに住んでいる例は多くありません。日常生活は住んでいる地域の中で、その大半は過ごされています。その現実から目を逸らしてはなりません

**地域活動が中心**

全国的に市町村では、役所が中心主義から転換し、各地域主体の行政へウエイトを移しています。天に向かって役所で何とかしろと要求する時代ではなく、自分達の地域は自分達で磨き上げるという時代なのです。放っておけば誰かが何とかするというのではなく、自分達で進んで行動すべき時代です

**防犯・防災・相互の助け合い**

何でもかでも全体でしようというのではありません。個人として自律すべき事項は多々ありますが、その他に防犯・防災に相互の助け合いといった大切な事項は、協同でやらなければ成果は生じないのです

その協同活動を円滑に進める根幹に、ご近所同士が親しく顔を合わせ、気楽に話し合える雰囲気が必要不可欠なのです